

特集

やいた スポーツ TOPICS



2017年（平成29年）には、栃木県全域を舞台としたサイクルロードレース「ツール・ド・とちぎ2017」、そして、2020年（平成32年）には56年ぶりとなる「東京オリンピック・パラリンピック」、さらに2022年（平成34年）には、矢板市が女子サッカー・軟式野球の会場となる「第77回国民体育大会・第22回全国障害者スポーツ大会」の開催が予定されています。

今号では、これらのスポーツイベントをきっかけとして、矢板市の魅力をさらに高め、交流人口の増加を図るために、新たに動き出したスポーツに関する取り組みやイベント情報を紹介します。



「矢板市スポーツ ツーリズム推進協議会」 を設立しました。

スポーツツーリズムって？

スポーツツーリズムとは、観光庁が提唱する「豊かな観光スタイルの創造」を目指し、スポーツを「観る」「する」ための旅行そのものや、周辺観光地への観光、また、地域のスポーツを支える人との交流、旅行先で気軽にスポーツを体験できるような環境の整備をすることです。



(スポーツツーリズムのイメージ)

矢板市では、スポーツで新たな人を呼び込むことによる地域活性化を目的に、スポーツツーリズムに取り組んでいます。スポーツツーリズムの事業展開により、子育てや農産物のブランド化など、さまざまな政策を連携させることで相乗効果を生み出し、それぞれの政策課題を解決へと導きます。

現在、「&スポーツ」を合言葉に、矢板市のラジオ番組「矢板時間」でのスポーツ体験・応援コーナーの放送や「八方ヶ原ヒルクライムレース」をはじめとする矢板市 PR 動画 2 本の制作などを進めているところです。



「矢板市スポーツツーリズム推進協議会」を設立しました！



10月13日(木)、「矢板市スポーツツーリズム推進協議会」を設立しました。

これは、矢板市が矢板中央高等学校やヴェルフェたかはら那須など、全国で活躍するサッカーチームを有するほか、とちぎフットボールセンターの候補地として選定され、サッカーのまちとしてのポテンシャルを持っていること、また、高原山などの豊かな自然環境をフィールドとした登山やハイキング、自転車、オリエンテーリング、ゴルフなど、多様なスポーツコンテンツが存在していることから、スポーツを矢板市の観光資源と位置付け、スポーツを基軸とした交流人口増を図り、地域経済の活性化を図ることを目的に、スポーツツーリズム推進事業を実施するものです。

本会議は、本国会、検討委員会、庁内検討会、アドバイザーから組織されるもので、その中でも検討委員会は、市内の関係機関・団体（体育、観光、商工、

学校、旅行者、交通業者）で構成されています。具体的には、今年度中にアクションプランを作成し、平成29年度にスポーツツーリズムを推進する組織（スポーツコミッション等）を設置し、大会や合宿の誘致、受入体制の整備、プロモーション活動などを行っていきます。

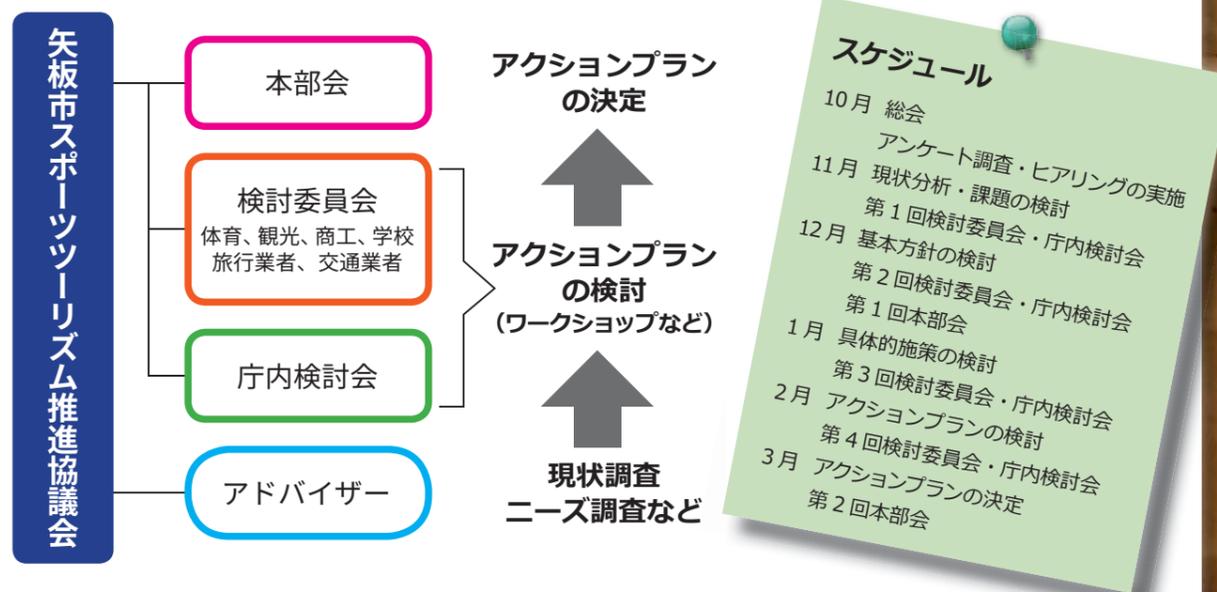
(推進組織の例)



スポーツを通じた地域の活性化

- 交流人口の拡大
- 地域経済への波及効果
- 矢板市の知名度・イメージアップ
- 地域住民のスポーツ活動の活性化

(体制のイメージ)





やいた自転車 ニュース!



ツール・ド・とちぎ 2017

問い合わせ／

ツール・ド・とちぎ実行委員会

☎028(680)6860

矢板市秘書広報課

☎(43)3764 FAX(43)2292

✉yaita@city.yaita.tochigi.jp



「ツール・ド・とちぎ」は、平成29年3月31日(金)～4月2日(日)に開催される、栃木県全域を舞台とした国際公認のサイクルロードレースです。本レースの開催を通じて、自転車先進県「とちぎ」を世界に向けて発信し、栃木県のブランドイメージ向上を図ります。

矢板市は、4月2日(日)の第3ステージのスタート地点、およびコースとなっています。

- 第1ステージ
- 第2ステージ
- 第3ステージ



総走行距離
約320km

(パレードラン含む)

【出場チーム】

国内外5カ国以上から、最大計20チーム

【パレードラン】

矢板市役所～矢板駅前～(国道461号)～下太田交差点

【コース】

下太田交差点～(県道272号線)～寺山ダム～県民の森～(塩谷町)～大槻～石関～乙畑～(さくら市)

【交通規制】

先頭選手の通過時間は、

●矢板地区～泉地区 9:55～10:40頃

●片岡地区 10:55～11:25頃

を予定しています。

その前後、**最大1～1.5時間程度、コースが通行止め**となりますので、ご注意ください。

募集 立哨ボランティア

コース内の立哨に協力して下さる方を募集します。
日時/平成29年4月2日(日)午前中(2～3時間程度)
※集合時間など、詳しくは後日連絡します。

対象/18歳以上の方(※高校生は除く)

申込方法/

11月30日(水)までに、①氏名 ②住所 ③年齢 ④電話番号 ⑤矢板市役所までの移動手段を記載の上、秘書広報課までメール、またはファクスでお申し込みください。



問い合わせ／

やいた輪博実行委員会

●ポタリングに関すること

☎028(661)6106

●上記以外(那須ブルーゼン事務所内)

☎0287(73)8331



「やいた輪博」は、矢板市が「ツール・ド・とちぎ」の第3ステージのスタート地点になることから、本レースをPRするとともに、自転車をより身近に感じてもらうことを目的に、子どもからお年寄りまで、みんなで参加できる自転車イベントを開催するものです。たかはらさくら青年会議所、チャリプロ(自転車を活用したまちづくりプロジェクトチーム)をはじめ、市内企業などが連携して運営に取り組んでいます。

イベント名の「やいた輪博」には、「わんぱくな子ども心で楽しんでもらいたい」という想いと、自転車の車輪が丸いことから、みんなが連携して「自転車のまち やいた」を盛り上げたい、という想いが込められています。

【日時】

11月23日(祝・水)10:00～15:00

9:45～開会セレモニー

【メイン会場】

矢板運動公園

【内容】

- ①自転車散策イベント「矢板りんりんポタリング」
- ②キックバイクレース(子ども対象)
- ③自転車安全教室(子ども・高齢者対象)
- ④自転車大運動会 ⑤自転車メーカーによる展示
- ⑥ステージイベント ⑦各種ブース出店

募集 矢板りんりんポタリング参加者

栃木県初の試みとして、5人1組のチーム編成によるポタリングを開催!ママチャリでも参加OK!親子や家族みんなでおそろいのユニフォームで参加してみたいか?もちろん個人でもお申し込みいただけます。

ゴール後は、ポタランチ、ポタみやげ、輪博会場内の各種ブースで楽しみましょう!

参加費/

チームエントリー(5人1組) 18,000円/チーム

個人エントリー(小学生以上) 3,800円/人

※ヘルメット着用、小・中学生は保護者同伴必須

コース/

秋の矢板を視覚・味覚で満喫できる約30kmのゆったりコース(所要時間2～3時間程度)、エイド3カ所予定

見どころ/

寺山ダム、長井りんご団地、長峰公園、木幡神社など

当日のスケジュール/

10:00 チームごとに順次スタート

12:00～14:00 ゴール後、ポタランチを楽しむ

申込方法/

11月10日(木)までにスポーツエントリー
(<https://www.sportsentry.ne.jp/event/t/67845>)

からお申し込みください。



矢板市初・地域おこし協力隊就任!

10月3日(月)、市役所において、矢板市初となる地域おこし協力隊員に千葉県我孫子市出身の長島教之さんが委嘱されました。齋藤市長からは「初めての地域おこし協力隊員であり、責任は重大。大いに成果を上げ、後に続く隊員の道を開いてほしい」と期待を込めた話がありました。

長島さんには、自転車を活用したプロモーション担当として活動していただきます。長島さんについて、次ページで詳しくご紹介します。



地域おこし協力隊 はじめました。



地域おこし協力隊って？

矢板市の行政課題や地域の課題を解決する上で、必要な人材を確保するため、矢板市に移住し、地域資源の発掘や地域ブランドの開発・販売・PRなど、地域おこしの支援をする方を、「地域おこし協力隊員」として委嘱するものです。

矢板市では、長島さんに委嘱した「自転車を活用したプロモーションスタッフ」のほかに、「矢板市スポーツツーリズム推進協議会の事務局スタッフ」「泉地域の活性化のためのスタッフ」の隊員も募集しています。

地域おこし協力隊

- 自身の才能・能力を生かした活動
- 理想とする暮らしや生きがい発見

三方よしの取り組み

地域

- 斬新な視点(ヨソモノ・ワカモノ)
- 協力隊員の熱意と行動力が地域に大きな刺激を与える

地方公共団体

- 行政ではできなかった柔軟な地域おこし策
- 住民が増えることによる地域の活性化

長島教之さんってどんな人？

【プロフィール】

名前 長島 教之 (ながしま のりゆき)
愛称 ながちゃん
年齢 28歳 (昭和62年11月9日生)
出身 千葉県我孫子市
仕事 矢板市地域おこし協力隊
(自転車を活用したプロモーションスタッフ)

【自転車について】

長島さんの愛車は、4年前に購入したロードバイク「MERIDA REACTO (メリダ リアクト)」。数々のレースをこの相棒とともに走り抜けてきました。平地でも山岳でも高いパフォーマンスを発揮してくれるので、お気に入り。また、普段使いの街乗り用にもう1台クロスバイクも所持しています。

特技は自転車整備全般。そのため、ちょっとしたトラブルなら自分で対処できます。

10月から地域おこし協力隊員に就任しました長島 教之です！
気軽に「ながちゃん」と呼んでください！
自転車では、関東圏のヒルクライムレース中心にレース志向で走っていました。
これまで培ってきた能力や経験を生かして矢板市をどんどん盛り上げていきますのでみなさん、よろしくお願いします！



2015年のレース戦歴

手賀沼デュアスロン総合	第5位
ツール・ド・八ヶ岳ハーフ	第1位
標名山ヒルクライム	
タイムトライアルの部	第6位
ツール・ド・つくばエキスパート	第5位
八方ヶ原ヒルクライム年別	第2位
那須岳ヒルクライムアスリート	第9位

長島教之さんにインタビュー！！

矢板市を初めて訪れたのは？

私が初めて矢板市に訪れたのは、第1回目の「八方ヶ原ヒルクライムレース 2014」に出場した時です。「絶対優勝するぞ！」と意気込んでいたのですが、スタートして間もなく、落車してしまいました。そのままタイヤとなり、徒歩で下山している時に地元住民の方たちと少しだけお話をしました。意気消沈していたのですが、ケガの心配などをしてくださり、少しでも心が救われたことを覚えています。

八方ヶ原の緑の環境もとても素晴らしいと思いますが、私は温かい人柄にとっても強い印象があります。



2回目の出場となる「八方ヶ原ヒルクライムレース 2015」では、男子A (高校生～30歳未満) で見事第2位！(写真左)



今年の「八方ヶ原ヒルクライムレース 2016」にも出場し、46分00秒のタイムで完走しました！

「地域おこし協力隊」に応募した理由は？

私は学生の頃から、陸上競技、トライアスロンなど、ずっとスポーツを行ってきました。4年前から始めたロードバイクは、現在自分が誇れることの1つだと自負しています。

自転車競技に対する限りなく大きな恩を返すため、そして、今までコツコツやってきたスポーツ (特に自転車) に関わる仕事ができるチャンスであることから、「自転車でまちを盛り上げよう」と熱い思いで尽力する矢板市でなら、私の力を最大限に発揮できるのではないかと考えたからです。

やってみたいことは？

矢板市のサイクルマップを作成し、矢板市に走りに来たサイクリストに使ってもらいたいと考えています。来年の「八方ヶ原ヒルクライムレース」にはぜひ参加賞とともに配りたいですね。

また、ヒルクライム以外の自転車レース・イベントの展開も考えていきたいです。例えば、タイムトライアルレース (平坦や起伏のあるコースを走り、タイムを競う) や、初・中級者や女性向けの練習会、誰もが参加できるポタリングなど、幅広いライダーに楽しんでもらえる企画を開催したいです。



愛車の「MERIDA REACTO (メリダリアクト)」とともに、今日も市内を探検中です！



「矢板市地域おこし協力隊」フェイスブックで情報発信中！「いいね！」やコメントをお願いします。

現在行っていることは？

自転車で走りやすい道やヒルクライムに適した道、平坦で走りやすい道など、サイクルマップ作成に向け、市内中心に自転車で走っていることが多いです。

最近走った中では、寺山ダムまでの道が距離も適度で、勾配もそんなにきつくないので、おすすめです。ゴール後に見るダムの景色は絶景ですよ！

「矢板市地域おこし協力隊」フェイスブックでも、おすすめコース第1弾として寺山ダムを紹介しました。皆さんのおすすめコースや場所などがありましたら、ぜひ教えてください！